

産婦人科

1. 目的と特徴

当科では、産婦人科学の基本である、婦人科腫瘍、周産期、生殖内分泌、女性医学の4つの分野の指導医が在籍しています。そのため、当院の3年間の研修で日本産科婦人科学会・専門医を取得するのに必要な基本的な知識や手技を習得することが可能であり、目的としています。さらに、婦人科腫瘍専門医や周産期専門医、生殖医療専門医、産科婦人科内視鏡学会技術認定医、女性ヘルスケア専門医などのより高度なサブスペシャリティ習得に向けた修練が可能です。

産婦人科研修には以下の特徴があります

①広範囲で多くの疾患を経験できる診療科です。

外科系診療科としての産婦人科は子宮筋腫などの良性疾患から癌などの悪性疾患までを手術対象とし、診断から手術さらには集学的治療としての化学療法や放射線療法など多くの治療法を経験できます。一方で、産婦人科は内科的側面も持ち、体外受精などの不妊治療や妊娠・分娩管理を通してヒトの出生に関わり、思春期内分泌から更年期・老年期疾患などの治療・管理に至るまで、女性の各ライフステージで総合的に関わり続ける診療科です。

②分娩および婦人科外科基本手技の研修が可能です。

上級医の指導のもと後期研修医自ら分娩介助を実践します。また、手術手技については、手術器具の持ち方から糸の結び方などの基本的手術操作を徹底的に教え、実際の手術手技を習得していただきます。

③内視鏡下手術やロボット手術を経験できます。

当科では積極的にロボット手術を含めた内視鏡下手術を導入しており、良性疾患から悪性腫瘍まで、低侵襲手術を行っています。

2. 指導スタッフ

(教授・基幹分野長)	田畑 務
	水主川 純
(教授)	熊切 順
(准教授)	中林 章
(准講師)	本橋 卓

3. 研修施設

基幹施設：東京女子医科大学病院産婦人科・母子総合医療センター

研修協力施設：東京女子医科大学附属八千代医療センター、東京女子医科大学足立医療センター、湘南鎌倉総合病院、利根中央病院、湘南藤沢徳洲会病院、市川総合病院、愛育病院、銀座レディースクリニック、庄原赤十字病院

4. 研修カリキュラム

A: 一般目標

女性のライフサイクル全般に関わる診療科として、人間性豊かな医療人となることを目標とします。

B:行動目標

- 1) 医療安全管理の基本を理解し、身に着け実践する。
- 2) 患者さんならびにご家族に対し、罹患した疾患に関わる十分なインフォームドコンセントを行うことができる。
- 3) 医療記録（診療録、手術記録、他院記録）、診断書、報告書を遅滞なく正確に記載する。
- 4) 女性生殖器の発生、骨盤解剖を理解し、婦人科疾患に対する幅広い基礎知識を習得する。
- 5) 基本的手術手技を身に着け、良性婦人科疾患ならびに帝王切開の術者を担当する。
- 6) 適切な妊婦検診を行い、正常分娩の介助を行える。
- 7) 新生児に関する幅広い知識を持ち、分娩時蘇生が行える。
- 8) 産婦人科専門医を取得する。

C:年次別研修スケジュールと研修内容概略（図参照）

代表的なスケジュールを示します。

	後期 専攻医 (月)	年度											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
A先生	1年目	婦人科						産科					
	2年目	NICU			湘南藤沢			婦人科					
	3年目	足立センター				愛育病院				産科			

B先生	1年目	産科						婦人科					
	2年目	愛育病院			八千代医療センター			市川総合病院					
	3年目	産科			NICU			産科			婦人科		

各学年における到達目標

後期研修1年目；終了時には市中病院の当直を単独で行えるレベル

分娩介助：単独でモニター管理ができる 直接介助ができる 会陰切開・縫合ができる

婦人科手術：開腹手術の第一助手、指導者の管理下での良性疾患の執刀ができる

産科手術：帝王切開の第一助手、指導者の管理下での執刀ができる

後期研修2～3年目；終了時には大学での第一当直が行えるレベル

分娩介助：指導者の管理下での吸引分娩、頸管裂傷の縫合ができる

婦人科手術：指導者とともに良性疾患の術者ができる

産科手術：指導者とともにlow risk 帝王切開の術者ができる

後期研修4～5年目；産婦人科専門医取得とともに産婦人科としての技量を高める、サブスペシャリティを目指す。

分娩介助：単独で吸引分娩ができる

婦人科手術：良性疾患の術者、悪性疾患の第一助手ができる

産科手術：指導者とともにhigh risk 帝王切開の術者ができる

専門領域・研究領域を選定し、各自の専門領域の修練開始
年度末に後期臨床研修修了

5. 後期臨床研修終了後の進路

大学助教昇任、関連施設での研修、大学院入学、留学

6. 学位

語学試験合格の後に研究論文により乙種学位申請が可能である。

大学院進学は希望により可能である。

7. 専門医

産婦人科専門医を習得後にサブスペシャリティとしての専門医を目指す。当院では、婦人科腫瘍専門医、産科婦人科内視鏡学会技術認定医、周産期専門医、生殖医療専門医、女性ヘルスケア専門医などの取得が可能である。

8. 問い合わせ先

〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学産婦人科

医局長：菅野 俊幸

TEL：03-3353-8111（内線：37411）

FAX：03-5269-7619